タモトユリ
2月号
十島村立
口之島小中学校
児童生徒会新聞
2月27日発行

大切な仲間と思い出できた

二月十六日に、お別れ遠足がありました。当日は、とても良い天気で、健康広場で行われました。健康広場までは歩いて行きましたが、道中、さんと　さんと　さんに、水芋栽培の様子を見せていただきました。島ならではの貴重な体験でした。

一番最初に行ったレクリエーションは、〈中三〉の好きなスポーツであるサッカー。二チームに分かれて、低学年の六人だけがボールを触れる時間があるという特別ルールをつくり、みんなで盛り上がりました。　さんも楽しそうでした。

次は、「THE口之島」。これは夜間開放〈毎週木曜日十九時三十分から〉で考え出された口之島オリジナルのスポーツで、フリスビーを使ったサッカーです。久しぶりにしたので最初は投げにくかったのですが、フリスビーが二つに増えるとさらに楽しくなりました。

三つ目は、くちっこ園の園児も一緒におにごっこ。足は疲れていましたが、お弁当を楽しみにみんなで走りまわりました。

午後は野球や○×ゲームをして、児童生徒のきずなをさらに深めることができました。

さんは、「受験勉強ばかりしてきたので、外で遊べて嬉しかった。先生方や後輩たちとたくさん話せてよかった。」と言っていました。

さん〈小二〉は、「たくさん点を入れられたからサッカーが一番楽しかった。また、お母さんもとても楽しそうでした。卒業生も在校生も先生方もとてもおいしかった。」と言っていました。

さん〈小六〉、さん〈小六〉の卒業まで、あと少しで学年や学級で過ごすのです。残された一日一日を大切にしながら、もっと楽しい思い出を作っていきましょう。

今回の遠足は、新しい環境へ足を踏み入れる力を蓄えられたのではないでしょうか。卒業生のみなさん、これからもがんばってください。

三月の卒業式まであと少しです。卒業生は今、どんなことを考えているのでしょうか。

さん〈小三〉、さん〈小六〉、さん〈小六〉に今の思いを語ってもらいました。

―もうすぐ卒業ですね。

〈以下M〉「そうだね。中学校はちょっと心配」

〈以下H〉「うん、私も。中学生に早くなりたいけど、でもなりたくない気もするし：」

〈以下K〉「中学校は勉強が難しくなるけど、小学校の復習をきちんとしておけば大丈夫。いやなことがあっても、それを乗り越えて学校生活を楽しめたらいいね。」

―では、学校生活を振り返ってみましょう。一番の思い出は？

M「修学旅行！」

H「だよね。でも私は臨海学校かな。スイカ割りとか。」

M「え、スイカ割り？」

「うん。でもごはんづくりや牧草の草刈り、牛舎の掃除などをされていましたが、休みがなくて大変なのでは？」

K「高校、大学まで通ったら、島で畜産をするつもり。そのためにしっかりと勉強してくる。」

M「私は学校の先生になりたいんだけど、つかここで生徒に教えられたらいいな。おばあちゃんになったらここで農業をしてみるのもいいかも。」

H「私は、将来の夢はまだ考え中。学校生活を通して見つけていきたい。」

・・・来月号に続く

地域おこし協力隊ってなに？

十島村では、看護士、介護士、畜産や仕事をする地域おこし協力隊を募集しています。口之島にも、畜産業の手伝いをされているさんがいます。

■地域おこし協力隊とは

地域おこし協力隊は、人口の減少や高齢化を防ぎ、人々の定住を図るためのものです。十島村では、畜産、農業、子育て支援、高齢者見守り支援などで地域を支えます。

さんのお話

さんにインタビューをしました。口之島に来られる前は北海道で乳牛を育てていた　さん。肉牛を育てたい、と口之島にやってきました。毎日、えさやりや牧草の草刈り、牛舎の掃除などをされていますが、休みがなくて大変なのでは？

「牛一頭まかされたことが一番うれしかった」と話すさんの目標は、口之島で畜産農家になり、牧場を持つこと。

これからもよろしくお願いします」と島民に呼びかけました。

来月号も地域おこし協力隊につい紹介します。

タモトユリ調査隊～ためになる！口之島勉強会～

遠足

イベント給食　おいしくいただく

みんなで楽しく　バイキング給食　誕生日給食

今月は給食関係のイベントが二つある、おいしい月でした。

二月七日には、バイキング給食がありました。バイキング給食は、食事のマナーを身に付けるための給食で、自分たちで好きな料理を選んで皿に入れます。料理を健委員会から料理を取るポイントが説明されました。五大栄養素の赤・黄・緑のバランスに気をつけながら取ること、後の人のことを考えて選ぶこと、自分が食べられる量だけをよそうことなど、みんなで楽しく食べるためのマナーを聞きました。普段は出ない鳥のからあげや、たこ焼きなどがあり、みんなとてもうれしそうでした。

さん（小二）は、「一番好きだったメニューは、からあげ。バイキングもより量がとても多かったのでうれしかった。また、食べられるだけつぐように心がけた。」と話しました。また、「これからは、給食を食べるときにひじをつかないようにしたい」という目標があるそうです。　さん（中二）は、「毎年食べ過ぎてしまうので、カロリーオーバーにならないように量を調整した。いつもよりにぎやかで楽しく食事ができた。」と話しました。

いつもより量も種類も多くて、作るのが大変だったと思います。給食を作ってくださった　さんに感謝しています。

また、二月八日には誕生日給食がありました。三学期誕生日の　さん（小四）をみんなで祝う給食です。保健委員会が中心となって誕生日カードや設営などの準備を行いました。

さんは「十歳になってがんばりたいことは、走ることと勉強やスポーツ」と食べる前に全員の前で発表し、「全員に祝ってもらえてとてもうれしい」と話しました。

これからもマナーを守っておいしく食べましょう。

小6

鹿児島博士」をめざして

二月十五日に、小学五年生から中学二年生までの六名が鹿児島ジュニア検定を受検しました。これは、鹿児島県の地理や歴史、人物や料理などについて詳しくなるための検定で、三択問題が二十問出題されます。それぞれ専用テキストなどで勉強し、検定に臨みました。

今回は、初めてこの検定を受けた　さん（小五）は、「帰りの会で先生が問題を出してくださったが、思ってよりも難しかった。他県出身な　、鹿児島県について知ることができて良かった。」と話しました。

さんは、六人中四人が合格しましたこれからも鹿児島県についてたんさん知り、「鹿児島博士」を目指しましょう。

彫刻展　特別賞受賞

ゆめ立体・彫刻展で、　さん（小六）が鹿児島市立美術館賞、　さん（中三）が南日本放送賞、口之島小学校が学校賞を受賞しました。

さんは初めての特別賞受賞で、「フルートを堂々と吹いているところをつくった。賞をもらえてうれしい。」と喜びました。

出品した作品は、鹿児島市立美術館で展示されました。おめでとうございます！

できるようになったよ

■ピアノ演奏

私ができるようになったことは、ピアノをうまく弾くことです。私はピアノが大好きなのですが、これまでは練習しても同じところでひっかかってしまい、途中であきらめてしまうことが多かったです。しかし今は、最後まで弾ける曲がたくさん増えました。今は、「トルコ行進曲」の練習をしています。もっと上手に弾けるようになるまで、何度も練習していきたいです。

〈小六　　〉

■タイピング

私ができるようになったことは、パソコンのキーボードを早く打つことです。これまでは「ローマ字表」を見ないと打つことができませんでしたが、今は見なくても、打つことができます。たくさんパソコンを使うことで、打てるようになりとても嬉しいです。しかし、まだゆっくりでしか打てないので、少しずつ練習をして、速く打つことができるように、たくさん練習をしたいです。

〈小四　　〉

新しい本が届きました

一月に県立図書館から寄贈本が届きました。寄贈本は、子供向けの絵本「となりのせきのますだくん」や小中学生向けのホラーの「世界の恐怖ゾーン」、さらに大人向けの「手作りでおいしく、手作りで安心、でもかんたんでおやつ」や「心も体もすっきり肩こり体操」など。子供から大人まで楽しむことの出来るたくさんの種類の本が四十冊あります。

さん（小四）のおすすめは、「宿題引き受け株式会社」という本だ

そうです。「この本は、子どもたちが自分たちの会社を守るために大人をだますおもしろい話なので、ぜひ読んでもらいたいです。」と話しました。学校にはほかにもたくさん本があり、島民のみなさんは誰でも借りることができます。マナーを守ってたくさんの本を読んでくださいね。